学　校　案　内

1. 本校の創設及び沿革

我が国産業の目覚ましい発展に伴い、科学技術者の養成が強く要望され、昭和 37 年度から新たな学校制度としての高等専門学校が発足した。

北九州工業高等専門学校は、この新しい高等教育機関の 1 つとして工業に関する専門教育を授け、産業の興隆並びに文化の発展に貢献し得る有能な技術者を育成するため、昭和 40 年 4 月 1 日工業都市北九州市に創設された。当時は、機械工学科（定員 80 名）、電気工学科（定員 40 名）の 2 学科で発足したが、昭和 45 年度には化学工学科（定員 40 名）、昭和 62 年度には電子制御工学科（定員 40 名）が新たに増設され、平成元年度には、従来の機械工学科（定員 80 名）が、機械工学科（定員 40 名）と制御情報工学科（定員 40 名）の 2 学科に改組された。平成 10 年度には、化学工学科が物質化学工学科に改組され、平成 14 年度には、電気工学科が電気電子工学科に改名された。平成 16 年度には、独立行政法人国立高等専門学校機構法により独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する北九州工業高等専門学校となった。平成 27 年度には準学士課程の高度化・再編を図り、5 学科が生産デザイン工学科の 1 学科（機械創造システム、知能ロボットシステム、電気電子、情報システム、物質化学の 5 コース）に改組された。

また、平成 8 年度には、生産工学専攻、制御工学専攻、化学工学専攻の 3 専攻をもつ専攻科（大学課程相当）が設置された。平成 16 年度には、化学工学専攻が物質化学工学専攻に改名された。更に、平成 27 年度から 3 専攻を統合し生産デザイン工学専攻に改組された。平成 18 年 5 月には、準学士課程第 4 学年から専攻科第 2 学年までの 4 年間の「生産デザイン工学」教育プログラムが、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けた。これによって、国際的に通用する技術者を育成するための教育プログラムとして認められている。

2. 本校の教育目的及び具体的な目標

本校では、「明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成」を目指し、次のような 3 つの教育目的を掲げ、さらに具体的に A～G に示す学習・教育到達目標を設定して学生の指導にあたっています。

（教育目的）

☆ 幅広い工学基礎と創造的技術開発力の修得

☆ 国際社会で尊敬され、信頼される国際センスの修得

☆ 地球にやさしい技術を開発できる心豊かな人間性の涵養

（学習・教育到達目標）

A 技術内容を理解できる基礎学力（数学、自然科学、情報）と自己学習能力を持つ技術者

①数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する基礎を理解できる。

②自主的・継続的な学習を通じて、基礎科目に関する問題を解くことができる。

B 専門分野における基礎知識を身に付けた技術者

①専門分野における工学の基礎を理解できる。

②自主的・継続的な学習を通じて、専門工学の基礎科目に関する問題を解くことができる。

C 専門工学基礎知識の上に実践的技術を学んだ技術者

①実験や実習を通じて、問題解決の実践的な経験を積む。

②機器類（装置・計測器・コンピュータなど）を用いて、データを収集し、処理できる。
③実験結果から適切な図や表を作り、専門工学基礎知識をもとにその内容を考察することができる。
④実験や実習について、方法・結果・考察をまとめ、報告できる。

D 身に付けた工学知識・技術をもとにして問題を解決する能力を有する技術者

①専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を総合し、活用できる。
②工学知識や技術を用いて、課題解決のための調査や実験を計画し、遂行できる。
③工学知識や技術を用いて、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。

E 多様な文化を理解するための教養を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーションの基礎能力を有する技術者

①歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。
②日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。
③英語によるコミュニケーションの基礎能力（読解・記述・会話）を身に付ける。

F 歴史・文化・社会に関する教養を持ち、技術の社会・環境とのかかわりを考えることのできる技術者

①歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。
②工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。
③技術者としての役割と責任を認識できる。

G 社会の一員としての自覚、倫理観を持ち、心豊かな人間性を有する技術者

①健やかな心身をもち、社会性、協調性を身に付ける。
②社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。

3.「生産デザイン工学」教育プログラム

平成 16 年度からは、「生産デザイン工学」教育プログラムを設定しています。この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたもので、編入学直後の第 4 学年次から第 5 学年次を経て、専攻科第 1 および第 2 学年次までの 4 年間を対象としています。編入学者は全員この教育プログラムの少なくとも前期 2 年間の履修対象者となります。

4. 所在地

〒802-0985 北九州市小倉南区志井 5 丁目 20 番 1 号

JR 小倉駅から JR 日田彦山線で志井公園駅まで約 20 分（下車徒歩 15 分）、JR 小倉駅前バス停から主に 34・36 番系統バスで北九州高専前バス停まで約 40 分（下車徒歩 2 分）、小倉駅からモノレールで志井駅又は企救丘駅まで約 18 分（下車徒歩 15 分）。都心を離れた閑静な地に位置し、勉学に極めて恵まれた環境にあります。

5. 教育課程

一般科目

授業科目		単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	国語AⅠ	1	1						
	国語AⅡ	1	1						
	国語BⅠ	1		1					
	国語BⅡ	1		1					
	現代文Ⅰ 日本語Ⅰ	1			1			留学生以外に対して開講 留学生に対して開講	
	現代文Ⅱ 日本語Ⅱ	1			1			留学生以外に対して開講 留学生に対して開講	
	アジア文学論Ⅰ	1				1			
	アジア文学論Ⅱ	1				1			
	地理Ⅰ	1	1						
	地理Ⅱ	1	1						
	公共倫理Ⅰ	1		1					
	公共倫理Ⅱ	1		1					
	歴史Ⅰ	1		1					
	歴史Ⅱ	1		1					
	現代社会Ⅰ 日本事情Ⅰ	1			1			留学生以外に対して開講 留学生に対して開講	
	現代社会Ⅱ 日本事情Ⅱ	1			1			留学生以外に対して開講 留学生に対して開講	
	基礎数学AⅠ	2	2						
	基礎数学AⅡ	2	2						
	基礎数学BⅠ	1	1						
	基礎数学BⅡ	1	1						
	基礎解析Ⅰ	2		2					
	基礎解析Ⅱ	2		2					
	微分積分Ⅰ	2			2				
	微分積分Ⅱ	2			2				
	代数・幾何Ⅰ	1		1					
	代数・幾何Ⅱ	1		1					
	線形代数Ⅰ	1			1				
	線形代数Ⅱ	1			1				
	物理AⅠ	1	1						
	物理AⅡ	1	1						
	物理BⅠ	1		1					
	物理BⅡ	1		1					
	化学AⅠ	1	1						
	化学AⅡ	1	1						
	化学BⅠ	1		1					
	化学BⅡ	1		1					
	総合科学Ⅰ	1	1						
	総合科学Ⅱ	1	1						
	保健	1	1						
	体育AⅠ	1	1						
	体育AⅡ	1	1						
	体育BⅠ	1		1					
	体育BⅡ	1		1					
	体育CⅠ	1			1				
	体育CⅡ	1			1				
	生涯スポーツⅠ	1				1			
	生涯スポーツⅡ	1				1			
	音楽	1	1						
	英語AⅠ	2	2						
	英語AⅡ	2	2						
	英語BⅠ	2		2					
	英語BⅡ	2		2					
	英語CⅠ	1			1				
	英語CⅡ	1			1				
	総合英語AⅠ	1				1			
	総合英語AⅡ	1				1			
	総合英語BⅠ	1					1		
	総合英語BⅡ	1					1		
	英語表現AⅠ	1	1						
	英語表現AⅡ	1	1						
	英語表現BⅠ	1			1				
	英語表現BⅡ	1			1				
必修科目単位数計		72	26	22	16	6	2		
選択科目	中国語文化	1			1			（異文化言語理解群） 前期・後期	前期と後期で1単位ずつ、2科目を修得
	韓国語文化	1			1				
	タイ語文化	1			1				
	比較文学特論	1				1		（リベラルアーツ群） 前期・後期	前期と後期で1単位ずつ、2科目を修得
	比較言語学特論	1				1			
	比較思想学特論	1				1			
	比較地理学特論	1				1			
	比較歴史学特論	1				1			
	比較宗教学特論	1				1			
	文化地理学	2				1	1	（人文社会科学群） 前期・後期	前期と後期で1単位ずつ、2年間で4科目を修得
	文化交流史	2				1	1		
	技術者倫理・哲学	2				1	1		
	法学・知財	2				1	1		
選択科目開設単位数計		17			3	10	4		
選択科目修得単位数計		8			2	4	2		
開設単位数計		89	26	22	19	16	6		
修得単位数計		80	26	22	18	10	4		

専門基礎科目

授業科目		単位数	学年別配当		備考
			1年	2年（前期）	
必修科目	情報リテラシー	1	1		
	情報セキュリティ	1	1		
	工学基礎実験Ⅰ	2	2		
	工学基礎実験Ⅱ	2	2		
	基礎製図A	1	1		
	基礎製図B	1		1	
	メカトロニクス基礎	1		1	
	電気基礎	1		1	
	プログラミング基礎	1		1	
	材料基礎	1		1	
専門基礎共通科目開設単位数計		12	7	5	
専門基礎共通科目修得単位数計		12	7	5	
一般科目開設単位数計		48	26	22	
一般科目修得単位数計		48	26	22	
開設総単位数計		60	33	27	
修得総単位数計		60	33	27	

機械創造システムコース

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
必修科目	機械製図基礎	1	1				
	CAD実習	1	1				
	力学基礎	1	1				
	機械実習基礎	2	2				
	物理CⅠ	1		1			
	物理CⅡ	1		1			
	応用数学Ⅰ	1			1		
	応用数学Ⅱ	1			1		
	確率・統計基礎	1				1	
	数値計算法	1			1		
	材料学Ⅰ	1		1			
	材料学Ⅱ	1		1			
	機構学	1		1			
	工業力学Ⅰ	1		1			
	工業力学Ⅱ	1		1			
	材料力学AⅠ	1		1			
	材料力学AⅡ	1		1			
	材料力学B	2			2		学修単位
	熱力学Ⅰ	1			1		
	熱力学Ⅱ	1			1		
	エネルギー工学Ⅰ	1				1	
	エネルギー工学Ⅱ	1				1	
	伝熱工学Ⅰ	1				1	
	伝熱工学Ⅱ	1				1	
	水力学Ⅰ	1			1		
	水力学Ⅱ	1			1		
	流体力学Ⅰ	1				1	
	流体力学Ⅱ	1				1	
	機械工作法Ⅰ	1		1			
	機械工作法Ⅱ	1		1			
	機械加工学	1			1		
	設計工学Ⅰ	1			1		
	設計工学Ⅱ	1			1		
	機械工学演習	1			1		
	創造デザイン演習AⅠ	2			2		
	創造デザイン演習AⅡ	2			2		
	創造デザイン演習B	2				2	
	機械製図Ⅰ	1		1			
	機械製図Ⅱ	1		1			
	振動工学	1			1		
	自動制御A	1			1		
	自動制御B	1				1	
	メカトロニクス工学Ⅰ	1				1	
	メカトロニクス工学Ⅱ	1				1	
	工業英語	1			1		
	工作実習Ⅰ	2		2			
	工作実習Ⅱ	2		2			
	機械工学実験A	2			2		
	機械工学実験B	2				2	
	卒業研究	8				8	
必修科目単位数計		66	5	17	22	22	
選択科目	精密加工学	1			1		3単位以上修得 工作実習基礎は、工業高校以外からの編入学生のみ履修対象で必修である。
	材料力学演習	1			1		
	新素材材料学	1			1		
	長期学外実習	3			3		
	工作実習基礎	1			1		
	学外実習A	1			1		4単位以上修得 ・「学外実習B」は、「学外実習A」を修得しておらず、かつコースが承認した学外実習の場合にのみ認定される科目である。 ・「機械創造システム特論A・B」は、コースが承認した他高専・大学等による講義・実習を履修した場合に認定される科目である。単位の認定は別に定める。
	学外実習B	1				1	
	数学特論	1			1		
	CAE演習	1				1	
	応用物理	1				1	
	基礎ディジタル回路	1				1	
	ロボット工学	1				1	
	工業英語演習	1				1	
	品質管理	1				1	
	機械創造システム特論A	1			1		
	機械創造システム特論B	1				1	
	基礎ナノエレクトロニクス	1				1	前期・後期 前期と後期で1単位ずつ修得
	コンピュータ概論	1				1	
	物質化学工学概論	1				1	
選択科目開設単位数計		21			10	11	
選択科目修得単位数計		9			3(4)[5]<6>	6(5)[4]<3>	4年生の選択科目の修得によって、5年生の選択科目の修得単位数が変わる。
専門科目開設単位数計		87	5	17	32	33	
専門科目修得単位数計		75	5	17	25(26)[27]<28>	28(27)[26]<25>	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。
一般科目開設単位数計		41		19	16	6	
一般科目修得単位数計		32		18	10	4	
開設総単位数計		128	5	36	48	39	
修得総単位数計		107	5	35	35(36)[37]<38>	32(31)[30]<29>	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
選択科目	学外実習C	1			1		学外実習Aまたは学外実習B 単位修得者のみ。 進級および卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う。

知能ロボットシステムコース

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
必修科目	ロボティクス基礎	1	1				
	CAD演習	1	1				
	工作実習	2	2				
	プログラミング	1	1				
	プログラミング応用Ⅰ	1		1			
	プログラミング応用Ⅱ	1		1			
	ロボットデザインⅠ	2		2			
	ロボットデザインⅡ	2		2			
	インターフェース工学	1		1			
	組込み技術	2		2			
	力学Ⅰ	1		1			
	力学Ⅱ	1		1			
	材料力学基礎	1		1			
	機械工作法	1		1			
	電気電子基礎	1		1			
	SIer基礎	1		1			
	知能ロボットシステム実験A	2		2			
	応用数学Ⅰ	1			1		
	応用数学Ⅱ	1			1		
	データサイエンス基礎	1			1		
	アルゴリズム	1			1		
	コンピュータアーキテクチャ	1			1		学修単位
	機械力学Ⅰ	1			1		
	機械力学Ⅱ	1			1		
	材料力学Ⅰ	1			1		
	材料力学Ⅱ	1			1		
	熱力学Ⅰ	1			1		
	熱力学Ⅱ	1			1		
	水力学Ⅰ	1			1		
	水力学Ⅱ	1			1		
	制御工学Ⅰ	1			1		
	制御工学Ⅱ	1			1		
	機械設計Ⅰ	1			1		
	機械設計Ⅱ	1			1		
	創造ロボット演習A	2			2		
	知能ロボットシステム実験B	2			2		
	確率・統計基礎	1				1	
	データサイエンスⅠ	2				2	
	データサイエンスⅡ	1				1	
	メカトロニクス工学	2				2	
	ロボット工学	1				1	
	熱システム工学	1				1	
	流れ学	1				1	
	システム制御工学Ⅰ	1				1	
	システム制御工学Ⅱ	1				1	
	創造ロボット演習B	2				2	
	ロボット知能化演習	2				2	
	知能ロボットシステム実験C	2				2	
	卒業研究	8				8	
必修科目単位数計		68	5	17	21	25	
選択科目	長期学外実習	3			3		3単位修得
	プロジェクト演習	3			3		
	学外実習A	1			1		2単位以上修得 ・「学外実習B」は、「学外実習A」を修得しておらず、かつコースが承認した学外実習の場合にのみ認定される科目である。 ・「知能ロボットシステム特論A・B」は、コースが承認した他高専・大学等による講義・実習を履修した場合に認定される科目である。 単位の認定は別に定める。
	知能ロボットシステム特論A	1			1		
	数学特論	1			1		
	学外実習B	1				1	
	知能ロボットシステム特論B	1				1	
	品質管理	1				1	
	図形処理工学	1				1	
	基礎カーエレクトロニクス	1				1	前期・後期：前期と後期で1単位ずつ修得
	コンピュータ概論	1				1	
	物質化学工学概論	1				1	
選択科目開設単位数計		16			9	7	
選択科目修得単位数計		7			3(4)[5]	4(3)[2]	4年生の選択科目の修得によって、5年生の選択科目の修得単位数が変わる。
専門科目開設単位数計		84	5	17	30	32	
専門科目修得単位数計		75	5	17	24(25)[26]	29(28)[27]	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。
一般科目開設単位数計		41		19	16	6	
一般科目修得単位数計		32		18	10	4	
開設総単位数計		125	5	36	46	38	
修得総単位数計		107	5	35	34(35)[36]	33(32)[31]	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
選択科目	学外実習C	1			1		学外実習Aまたは学外実習B 単位修得者のみ。 進級および卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う。

電気電子コース

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
必修科目	基礎電気回路	1	1				
	電気数学	1	1				
	プログラミング応用	1	1				
	電気電子工学基礎実験	2	2				
	物理学Ⅰ	1		1			
	物理学Ⅱ	1		1			
	電子回路設計	1		1			
	電気機器設計	1				1	
	アルゴリズムとデータ構造	1		1			
	電気回路AⅠ	1		1			
	電気回路AⅡ	1		1			
	電気回路BⅠ	1			1		
	電気回路BⅡ	1			1		
	電気磁気学AⅠ	1		1			
	電気磁気学AⅡ	1		1			
	電気磁気学BⅠ	1			1		
	電気磁気学BⅡ	1			1		
	電子回路基礎Ⅰ	1		1			
	電子回路基礎Ⅱ	1		1			
	電子回路論Ⅰ	1			1		
	電子回路論Ⅱ	1			1		
	電気機器AⅠ	1		1			
	電気機器AⅡ	1		1			
	電気機器B	1			1		
	電気電子工学実験A	4		4			
	電気電子工学実験B	4			4		
	応用数学Ⅰ	1			1		
	応用数学Ⅱ	1			1		
	確率・統計Ⅰ	1				1	
	確率・統計Ⅱ	1				1	
	応用物理学Ⅰ	1			1		
	応用物理学Ⅱ	1			1		
	電気電子工学演習A	1			1		
	電気電子計測工学	1			1		
	電子工学	1			1		
	基礎制御工学AⅠ	1			1		
	基礎制御工学AⅡ	1			1		
	基礎制御工学B	1				1	
	パワーエレクトロニクス基礎	1			1		
	パワーエレクトロニクス論	1				1	
	電子回路製作実習	1			1		
	数値計算法	1				1	
	電気電子材料	1				1	
	高電圧工学	2				2	学修単位
	通信工学	1				1	
	電力システム工学Ⅰ	1				1	
	電力システム工学Ⅱ	1				1	
	エネルギー変換工学	1				1	
	工業英語	1				1	
	電気法規及び施設管理	1				1	
	電気電子工学実験C	2				2	
	卒業研究	8				8	
必修科目単位数計		68	5	16	22	25	
選択科目	画像処理	1			1		3単位修得
	電気電子工学演習B	1			1		
	電気電子工学演習C	1			1		
	カーエレクトロニクス	1			1		
	長期学外実習	3			3		
	学外実習A	1			1		2単位以上修得 ・「学外実習B」は、「学外実習A」を修得しておらず、かつコースが承認した学外実習の場合にのみ認定される科目である。 ・「電気電子工学特論A・B」は、コースが承認した他高専・大学等による講義・実習を履修した場合に認定される科目である。単位の認定は別に定める。
	学外実習B	1				1	
	数学特論	1			1		
	電気電子工学特論A	1			1		
	電気電子工学特論B	1				1	
	基礎オプトエレクトロニクス	1				1	
	パワーエレクトロニクス演習	1				1	
	回路網解析	1				1	
	数値計算演習	1				1	
	機械工学概論	1				1	前期・後期：前期と後期で1単位ずつ修得
	メカトロニクス概論	1				1	
	コンピュータ概論	1				1	
	物質化学工学概論	1				1	
選択科目開設単位数計		20			10	10	
選択科目修得単位数計		7			3(4)[5]	4(3)[2]	4年生の選択科目の修得によって、5年生の選択科目の修得単位数が変わる。
専門科目開設単位数計		88	5	16	32	35	
専門科目修得単位数計		75	5	16	25(26)[27]	29(28)[27]	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。
一般科目開設単位数計		41		19	16	6	
一般科目修得単位数計		32		18	10	4	
開設総単位数計		129	5	35	48	41	
修得総単位数計		107	5	34	35(36)[37]	33(32)[31]	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
選択科目	学外実習C	1			1		学外実習Aまたは学外実習B 単位修得者のみ。 進級および卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う。

情報システムコース

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
必修科目	情報処理	2	2				
	基礎電気回路	1	1				
	論理回路	1	1				
	計算機システム	1	1				
	力学Ⅰ	1		1			
	力学Ⅱ	1		1			
	電気磁気学AⅠ	1			1		
	電気磁気学AⅡ	1			1		
	電気磁気学B	2				2	学修単位
	電気回路AⅠ	1		1			
	電気回路AⅡ	1		1			
	電気回路B	1			1		
	電子回路AⅠ	1		1			
	電子回路AⅡ	1		1			
	電子回路BⅠ	1			1		
	電子回路BⅡ	1			1		
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	1		1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1		1			
	システムプログラミングⅠ	1		1			
	システムプログラミングⅡ	1		1			
	計測工学Ⅰ	1		1			
	計測工学Ⅱ	1		1			
	電子情報システム工学実験実習AⅠ	2		2			
	電子情報システム工学実験実習AⅡ	2		2			
	電子情報システム工学実験実習BⅠ	2			2		
	電子情報システム工学実験実習BⅡ	2			2		
	電子情報システム工学実験実習C	2				2	
	応用数学AⅠ	1			1		
	応用数学AⅡ	1			1		
	応用数学BⅠ	1				1	
	応用数学BⅡ	1				1	
	ネットワーク技術Ⅰ	1			1		
	ネットワーク技術Ⅱ	1			1		
	ネットワーク構成論	1			1		
	ネットワーク応用	1				1	
	情報基礎	1			1		
	数値計算法Ⅰ	1			1		
	制御理論Ⅰ	1			1		
	制御理論Ⅱ	1			1		
	電気機器	1			1		
	情報科学	1			1		
	情報制御システム創造演習	1			1		
	プロジェクトマネジメント演習	2				2	学修単位
	システム制御演習	2				2	学修単位
	データベース基礎	1				1	
	信号処理Ⅰ	1				1	
	信号処理Ⅱ	1				1	
	システム制御理論Ⅰ	1				1	
	システム制御理論Ⅱ	1				1	
	シミュレーション	1				1	
	卒業研究	8				8	
必修科目単位数計		67	5	16	21	25	
選択科目	画像処理	1			1		3単位修得
	数値計算法Ⅱ	1			1		
	プログラミング演習	1			1		
	長期学外実習	3			3		
	学外実習A	1			1		3単位以上修得 ・「学外実習B」は、「学外実習A」を修得しておらず、かつコースが承認した学外実習の場合にのみ認定される科目である。 ・「情報システム特論A・B」は、コースが承認した他高専・大学等による講義・実習を履修した場合に認定される科目である。単位の認定は別に定める。
	学外実習B	1				1	
	電気回路演習	1			1		
	数学特論	1			1		
	情報技術概論	1				1	
	システム工学	1				1	
	人工知能	1				1	
	情報システム特論A	1			1		
	情報システム特論B	1				1	
	機械工学概論	1				1	前期・後期 / 前期と後期で1単位ずつ修得
	メカトロニクス概論	1				1	
	基礎カーエレクトロニクス	1				1	
	物質化学工学概論	1				1	
選択科目開設単位数計		19			10	9	
選択科目修得単位数計		8			3(4)[5]<6>	5(4)[3]<2>	4年生の選択科目の修得によって、5年生の選択科目の修得単位数が変わる。
専門科目開設単位数計		86	5	16	31	34	
専門科目修得単位数計		75	5	16	24(25)[26]<27>	30(29)[28]<27>	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。
一般科目開設単位数計		41		19	16	6	
一般科目修得単位数計		32		18	10	4	
開設総単位数計		127	5	35	47	40	
修得総単位数計		107	5	34	34(35)[36]<37>	34(33)[32]<31>	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
選択科目	学外実習C	1			1		学外実習Aまたは学外実習B 単位修得者のみ。 進級および卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う。

物質化学コース

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
	基礎無機化学	1	1				
	基礎有機化学	1	1				
	基礎生物化学	1	1				
	基礎化学実験	2	2				
	分析化学Ⅰ	1		1			
	分析化学Ⅱ	1		1			
	無機化学	1		1			
	有機化学A	1		1			
	有機化学BⅠ	1			1		
	有機化学BⅡ	1			1		
	生物化学	1		1			
	物理化学AⅠ	1		1			
	物理化学AⅡ	1		1			
	物理化学BⅠ	1			1		
	物理化学BⅡ	1			1		
	物質化学演習	1		1			
	総合物理Ⅰ	1		1			
	総合物理Ⅱ	1		1			
	有機化学実験	2		2			
	無機・分析化学実験	2		2			
	高分子化学AⅠ	1			1		
	高分子化学AⅡ	1			1		
	基礎化学工学	1		1			
	化学工学AⅠ	1			1		
	化学工学AⅡ	2			2		
	化学数学Ⅰ	1			1		
	化学数学Ⅱ	1			1		
	応用物理Ⅰ	1				1	
	応用物理Ⅱ	1				1	
	化学英語	1				1	
	物理化学実験	2			2		
	基礎データサイエンス	1		1			
	計算機化学	1			1		
	応用無機化学	1			1		
	応用化学工学実験	2			2		
	生物材料化学	1			1		
	食品科学Ⅰ	1			1		
	構造解析学	1			1		
	機器分析学	1				1	
	物質工学Ⅰ	1				1	
	機器分析実験	2				2	
	資源エネルギー工学	1				1	
	環境化学工学	1				1	
	化学工学BⅠ	1				1	
	生物反応工学	1				1	
	微生物工学Ⅰ	1				1	
	応用生物工学Ⅰ	1				1	
	物質化学実習	2			2		
	物質化学総合実習Ⅰ	1				1	
	物質化学総合実習Ⅱ	2				2	
	卒業研究	8				8	
必修科目単位数計		67	5	16	22	24	
選択科目	長期学外実習	3			3		・4年で3単位以上、4・5年で合計6単位修得 ・「学外実習B」は、「学外実習A」を修得しておらず、かつコースが承認した学外実習の場合にのみ認定される科目である。
	学外実習A	1			1		
	学外実習B	1				1	
	数学特論	1			1		
	品質管理	1			1		
	安全工学	1			1		
	触媒化学	1			1		
	協学実習	1				1	
	応用有機化学	1				1	
	化学工学BⅡ	1				1	
	物質工学Ⅱ	1				1	
	高分子化学B	1				1	
	食品科学Ⅱ	1			1		
	遺伝子工学	1				1	
	発酵工学	1				1	
	微生物工学Ⅱ	1				1	
	応用生物工学Ⅱ	1				1	
	機械工学概論	1				1	前期・後期 / 前期と後期で1単位ずつ修得
	メカトロニクス概論	1				1	
	基礎カーエレクトロニクス	1				1	
	コンピュータ概論	1				1	
選択科目開設単位数計		23			9	14	
選択科目修得単位数計		8			3(4)[5]{6}	5(4)[3]{2}	4年生の選択科目の修得によって、5年生の選択科目の修得単位数が変わる。
専門科目開設単位数計		90	5	16	31	38	
専門科目修得単位数計		75	5	16	25(26)[27]{28}	29(28)[27]{26}	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。
一般科目開設単位数計		41		19	16	6	
一般科目修得単位数計		32		18	10	4	
開設総単位数計		131	5	35	47	44	
修得総単位数計		107	5	34	35(36)[37]{38}	33(32)[31]{30}	4年生の修得単位数によって、5年生の修得単位数が変わる。

授業科目		単位数	学年別配当				備考
			2年（後期）	3年	4年	5年	
選択科目	学外実習C	1			1		学外実習Aまたは学外実習B 単位修得者のみ。 進級および卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う。

6. コース紹介

(1)機械創造システムコース

機械創造システムコースでは、高度な生産システム(電気、情報、制御)に対応し、新たな技術を創造するための基礎学力(数学、自然科学、情報)と自己学習能力を持つ技術者の育成を目指しています。最近、自動車や家電などのものづくり産業において、その急速な技術の進歩は製造機械のみに留まらず、情報・制御機器にまで及び従来のものづくりの形態が大きく変わり、より多様化しています。設計に必要なイメージの具現化から加工・計測に至るまでをコンピュータで行う CAE(CAD、CAM)の技術も要求されています。そのため、機械工学をベースとした基礎知識の習得と、制御、情報、化学分野にも幅広く対応出来る技術者の養成を行います。

本コースには、上述した知識を学ぶことで取得可能な「機械設計技術者試験 3 級」、「3 次元 CAD 利用技術者試験 2 級および準 1 級」等の資格に加え、所定の単位を習得し卒業後に企業等で実務経験を積むことで取得可能な「ボイラー・タービン主任技術者(第 1 種、第 2 種)」(申請のみ)などがあります。

(2)知能ロボットシステムコース

知能ロボットシステムコースでは、機械に知能を与えることができる、すなわちロボットを作ることができる技術者の育成を目的に、機械工学を柱に、ロボット設計技術、組込み技術、センシング技術、インターフェース技術、知能化情報技術、システム制御技術、それらを繋ぐシステム統合化技術を論理的かつ実践的に修得できる教育課程を設置しています。人間が知能や感覚によって行ってきた複雑な作業を機械に行わせるためには、機械自身が、周囲の情報(環境や状態)を正確に把握し、その情報に基づいて論理的に思考し、その思考によって動作しなければなりません。さらに、このようなロボットを実現する技術は、身の回りの多くの製品に用いられるようになり、ロボットによる多様なサービスが創出される未来社会では、社会的課題の解決にも直結する技術です。したがって、ユーザーの視点や社会実装における課題に対して、ロボット技術を駆使して自ら解決策を提案・デザインできる優れた人材を育成するために、創造的に考える力を養う教科横断的な専門科目を配置しています。

本コースでは、受検できる資格試験として「情報処理技術者試験」、「3 次元 CAD 利用技術者試験」、「機械設計技術者試験」、「組込みソフトウェア技術者試験」などがあります。

(3)電気電子コース

電気電子コースでは、自ら学び続けることで、急速な技術の変化に対応でき、あらゆる分野・場所で活躍できる電気電子技術者の育成を目指しています。編入学後は、高等学校で学んだ工学基礎を土台として、電気電子工学(電気、電子、情報、機器)の専門的な知識・技術を学びます。卒業生が電気主任技術者として認定されるのに必要な科目・実験を十分実施しながらも、これからの地域・産業界のニーズに応えるため、エネルギーインフラ、ロボット・自動車産業にとって重要なパワーエレクトロニクス教育に重点を置いています。また、次世代自動車産業に貢献する人材育成のため、全コース対象のカーエレクトロニクス科目を設定しています。自主性、独創性、課題解決能力を身に付けた電気電子技術者育成のために、プロジェクト実習、PBL を行う電子回路設計、電子回路製作実習を設定しています。5 年生では、電気電子工学の知識・技術を工学分野の課題解決に活用するとともに、多様性のあるチームでの共同作業について学べるようにしています。

本コースで所定の単位を取得し卒業後に企業等で実務経験を積むことで、国家資格・第 2 種または第 3 種電気主任技術者（実務経験の内容と経験年数によって異なる）の取得が可能です。また、本コースの卒業者は、国家資格・第２種電気工事士の受験において筆記試験が免除されます。ただし、高等学校での履修科目によっては上記の資格が得られない場合があります。

（4）情報システムコース

情報システムコースでは、情報産業および情報技術を必要とする製造業において、高度情報化社会の技術変化に柔軟に対応できる理解力と創造力を持った実践的な技術者の育成を目指しています。

コンピュータ応用分野において、コンピュータシステム、ネットワークシステム、情報通信システム、計測・制御システムなど ICT（情報通信技術）を活用したシステムの計画、解析、設計、開発、構築、運用などを行うには、システムのソフトウェアとハードウェアの両方の技術を理解したうえで対応することが必要となります。そのため、本コースでは、これらのシステムにおけるソフトウェアとハードウェアの知識と技術が体系的に身につくように教育課程を構成しています。低学年では、電気電子工学、情報工学分野の専門基礎科目を学び、これらを土台として高学年では、情報工学分野とシステム制御工学分野のハードウェアとソフトウェアに関連する専門科目を体系的に学習します。また講義内容の理解を深め、実践的な応用力を育成するために、各学年で演習や実験実習を行います。

本コースの教育課程は、国家資格である基本情報技術者試験（FE）の内容にも対応しています。

（5）物質化学コース

物質化学コースでは、物質化学が関わる環境保全、クリーンエネルギー、高機能性素材、食品、医薬品、資源有効活用など多様な産業分野に対応するために、多様化・複雑化した問題に対処し得る工学知識や実践的技術を修得した実践的な技術者の育成を目指しています。このため、低学年では、無機化学、分析化学、有機化学、高分子化学、生物化学、物理化学、化学工学等の基礎を学習し、高学年では、材料機能や物質生産に関わる物質工学、応用化学工学、応用生物工学及び食品工学等に関連する必修科目を系統的に学習します。また、修得した知識を複合的に活用する物質化学総合実習や総仕上げ科目として卒業研究を実施し、学際的に多様化、高度化した物質化学分野に対処し得る幅広い基礎知識と的確な課題解決に至る専門知識を有するエンジニアの育成をします。

本コースでは、卒業後に修得できる主な資格として「毒物劇物取扱責任者（資格取得（受験なし））」、「危険物取扱者（甲乙）（受験資格：卒業すれば得られる）」、「衛生工学衛生管理者（受験資格：卒業すれば得られる）」、「衛生管理者（1 種、2 種）（受験資格：実務経験１年以上）」および「作業環境測定士（受験資格：実務経験１ 年以上）」などがあります。

7. 専攻科の概要

本校には高専本科卒業生を受入れて、さらに 2 年間の融合複合教育を行う専攻科「生産デザイン工学専攻」が設置されています。本専攻は、環境材料領域、AI・IoT 領域、ロボティクス領域の３領域から構成されており、選択した領域の専門知識の深化に加え、幅広い視野から問題を捉え、専門分野の工学知識・技術を有機的に結び付ける力を養うことで、総合的に問題を解決する素養（デザイン能力）を身に付けることを目指しています。

8. 課外活動

課外活動とは、正課の授業時間外に行う学生の組織的な諸活動のすべてをいいます。その活動を通して自己を生かし、組織の発展に寄与することは将来指導的立場に就く者にとって極めて貴重な経験となります。このため本校の課外活動は、学校行事と併せ、学生が自主的に行うサークル活動が各方面にわたって活発に行われている。サークルには次のようなものがあります。

◎体育関係

硬式野球部、バレーボール部、卓球部、バスケットボール部、ラグビー部、サッカー部、
陸上部、水泳部、柔道部、剣道部、ハンドボール部、ソフトテニス部、テニス部、
バドミントン部、弓道部、空手道部

◎文化関係

ブラスバンド部、写真部、英会話研究部、コンピュータ研究部、美術部、高専起業部、将棋部

◎愛好会・研究会等

SDGs 友の会、ギターコーラス同好会、文学愛好会、宇宙科学研究会、ロボコン、
化学愛好会、ロボットデザイン研究会、数学愛好会

9. 入学時に必要な諸経費（予定額）

入学料	84,600 円	
授業料（前期分）	117,300 円	（年額 234,600 円）
教科書代	約 35,000 円	
教材費	約 30,000 円	
後援会費他	46,800 円	
パソコン購入費	約150, 000円	
合計	約 463,700 円	

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

10. 個人用ノートパソコンの必携について

本校では、非常に多くの授業でパソコンを用いた演習が行われており、演習以外でも電子データでの教材配布やレポート提出などパソコンの利用が必須となってきています。このことから、入学者にノートパソコンの必携化を実施します。入学の際にはノートパソコンを各自で準備・購入いただくことになりますので、あらかじめお知らせいたします。

ノートパソコンの仕様については、本校ウェブサイト
（https://www.kct.ac.jp/admission/laptop）にてご確認ください。

11. 修学支援制度（奨学金・入学料、授業料免除）

本校は、高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付型奨学金）の対象校として認定されており、支援対象者は給付型奨学金の受給と併せて、入学料及び授業料の免除・減額の支援を受けることができます。進学する前年に在学高校等を通じて、日本学生支援機構（JASSO）への申込みが必要となりますので、希望者は在学高校等の奨学金担当窓口に問い合わせください。

また、日本学生支援機構の貸与奨学金（第 1 種・第 2 種）も扱っています。進学前の予約申込もありますので、希望者は在学高校等の奨学金担当窓口に問い合わせください。

給付型奨学金（給付額は令和 8 年度分）

	区　分	自宅通学 給付月額	自宅外通学 給付月額
給付型奨学金	第Ⅰ区分	17,500 円	34,200 円
	第Ⅱ区分	11,700 円	22,800 円
	第Ⅲ区分	5,900 円	11,400 円
	第Ⅳ区分（多子世帯に限る）	4,400 円	8,600 円

貸与奨学金（貸与額は令和 8 年度分）

	区　分	貸与月額
第 1 種奨学金（無利子）	自 宅 通 学	20,000 円、30,000 円、45,000 円
	自宅外通学	20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円
第 2 種奨学金（有利子）		20,000 円～120,000 円（10,000 円刻み）

このほかに、県、市及び財団法人等による奨学金制度が数種あります。

12. 学生寮

学生寮に入寮出来るのは、原則第 1 学年から第 3 学年までの 3 年間です。従って、編入学生は入学後に入寮できません。

13. 就職状況

求人は就職希望者の 60 倍以上あり、就職率は例年ほぼ 100%です。

14. 卒業後の進学

本校は、卒業生の約半数が北九州高専専攻科や国立大学工学部などに進学しています。更に、専攻科修了生の約半数は大学院に進学しています。

なお、主な進学先（過去 3 年）は次のとおりです。

（高専本科卒業生）

国公立大学	
帯広畜産大学	大阪大学
秋田大学	奈良女子大学
東北大学	岡山大学
筑波大学	広島大学
群馬大学	山口大学
千葉大学	愛媛大学
東京科学大学	徳島大学
東京農工大学	高知大学
電気通信大学	九州大学
東京海洋大学	九州工業大学
長岡技術科学大学	佐賀大学
金沢大学	大分大学
豊橋技術科学大学	熊本大学
名古屋工業大学	宮崎大学
三重大学	鹿児島大学
京都工芸繊維大学	山口東京理科大学

私立大学
早稲田大学
東京通信大学
サイバー大学

高等専門学校専攻科
北九州高専専攻科

（専攻科修了生）

国公立大学	
筑波大学大学院	九州工業大学大学院
岡山大学大学院	大阪公立大学大学院
広島大学大学院	北九州市立大学大学院
九州大学大学院	

私立大学
早稲田大学大学院